

長野県知事 様

令和元年度長野県産業廃棄物3R実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	平成31年度から令和3年度		
会社名	長野日本無線株式会社		
住所	〒381-2288 長野県長野市稲里町1163番地		
代表者名	代表取締役 藤澤 敏彦		印
業種	製造業 ・ 建設業		
処理施設 所在地 <small>(処理施設を有する場合)</small>	施設名	所在地	
	無し		
担当部署	施設環境保全部		
担当者名	春日原 実		
連絡先	TEL	026-285-1043	
	FAX	026-285-1030	
	電子メールアドレス	kasugahara.minoru@jrc.co.jp	

1 目標達成状況

(1) 総排出量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

① 総排出量 (t)・kg 又は m³ ※採用した単位に○ / 売上高 (円)

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
令和元年度目標値	令和元年度実績値	平成30年度実績値	平成29年度実績値
0.0000000259	0.0000000288	0.0000000267	0.0000000260

② ①以外の指標

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
平成 年度目標値	平成 年度実績値	平成 年度実績値	平成 年度実績値

(2) 廃棄物処理（リサイクルしたものは除く）に要した費用に関する達成状況

廃棄物処理（リサイクルしたものは除く）に要した費用（円）／売上高（円）×100（％）

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
令和元年度目標値	令和元年度実績値	平成30年度実績値	平成29年度実績値
0.0006	0.0007	0.0007	0.0007

(3) リサイクルに要した費用に関する達成状況

リサイクルに要した費用（円）／売上高（円）×100（％）

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
令和元年度目標値	令和元年度実績値	平成30年度実績値	平成29年度実績値
0.126	0.180	0.130	0.115

(4) リサイクル率（％）

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和元年度目標値	令和元年度実績値	平成30年度実績値	平成29年度実績値
廃プラスチック	100	100	100	100
金属屑	100	100	100	100
混合金属	100	100	100	100
木屑	100	100	100	100
ガラス・陶磁器屑	100	100	100	100
廃油	100	100	100	100
廃材	95	95	95	95
汚泥	100	100	100	100
全体	99.0	99.6	99.5	99.36

(5) リサイクル製品使用率（％）

製品（材料）種別	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	平成 年度目標値	平成 年度実績値	平成 年度実績値	平成 年度実績値
該当なし				

*リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

2 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開実績

・平成20年度より環境経営の強化に向けた取り組みとして、「環境プログラム20XX」の社内展開を実施しており、今年度は「環境プログラム2019」として取り組みました。
 弊社HP【会社情報→環境経営の取り組み→資源の有効利用】へ前年度の廃棄物のリサイクル率と総廃棄物量の実績について掲載いたしました。

※ 「環境プログラム2019の概要」

- ・環境方針に従い、取得項目・管理項目および年度目標を揚げ、全社的な取り組みと進捗管理を実施しました。
- ・取組項目につきましては①「製品サービス」②「生産活動」③「ステークホルダーとの連携」の3つの観点からアプローチ・推進をしました。
 - ① 環境調和型製品の展開、環境配慮型設計の推進、環境配慮型調達の推進
 - ② 温室効果ガス排出量の削減、資源の有効利用（ゼロエミッションの推進）、有害物質の削除
 - ③ 社員の意識啓蒙、取引先との連帯強化、地域貢献、情報開示、コミュニケーション

3 産業廃棄物処理施設の地域への公開実績（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	施設公開状況			
	日時	対象者	人数	内容
処理施設なし				

4 処理を委託した処理業者（施設）の現地確認実績

区分	廃棄物の種類	現地確認結果（確認回数、確認日、確認状況等）
中間処理場		今年度は実施しておりません。
最終処分場		今年度は実施しておりません。

5 従業員教育（研修）実績

実施月日	対象者	実施内容
2019. 2. 6	部門環境活動推進者	① 環境目標について ② 環境プログラム （2018実績と2019計画） ③ 具体的な実施項目 ④ 環境影響評価/目的・目標設定の説明 ⑤ その他

6 リサイクル促進に向けた取組み実績

1. 使用できる梱包材（緩衝材）を再利用している。 2. 使用可能な木製パレットは廃棄せずに分別して再利用している。 3. 紙切れは従来可燃物として廃棄しておりましたが古紙と一緒にリサイクルとして纏めて排出している。
--

7 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者としての取組み実績

該当事項なし

8 他の不適正処理が生じた場合の協力実績

該当事項なし

9 その他独自に取り組んだ事項についての実績

※環境認証制度等の取得*、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等を含む。

- ・森林保全活動

生物多様性の保全を目的とし「森林の里親事業」に参加。森林づくりの支援を行っています。

春に従業員参加による森林整備作業を実施しています。

(本年度は、台風上陸のため秋は中止となりました。)

- ・環境調和型の製品の提供をしています。(ROHS対応製品)

*環境 ISO 14001、エコアクション 21 等